

【格付け維持】 追手門学院

発行体格付け： A [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

1888年に大阪偕行社附属小学校として大阪市内に創設された小学校を起源とする学校法人。国内の私立小学校の中でも古い歴史を持ち、2008年には創立120周年を迎えた。1947年に小学校の隣接地に中学校、1950年には高等学校を設立した。1966年には茨木市に大学を設置、翌年に高等学校の大部分を大学の隣接地に移転し、同時に中学校を併設した。1969年に豊中市に幼稚園を設立し、現在、7つの学校を運営している。

大学入試の総志願者数は、ここ数年、一般入試の減少を推薦入試が補い、横ばいを維持している。オープンキャンパスの集客と、参加者に推薦入試の出願を促す仕掛け作りには一定の成果が見られている。これを一般入試につなげられるかを見守る。

徹底した経費削減を伴う経営改革を進めており、帰属収支差額比率は比較的高水準である。キャンパスリニューアルの影響で当面、減価償却費の増加が収支を圧迫するが、経費の管理能力に優れていることからいずれ回復を見込める。総資産に占める引当資産や現預金の割合が高く、1998年度以降は無借金経営を続けるなど財務構成は良好である。

2008年の創立120周年を目指して、様々な改革を進めてきた。学院の教育理念として「独立自強・社会有為」を再確認するとともに、追手門学院将来計画「追手門ビジョン120」を策定した。大学では就職力の強化など明確な方針を打ち出しており、毎年の事業計画にも具体的な取り組みを盛り込んでいく。

当該格付けに適用した主要な格付方法は「R&Iの信用格付けの基本的な考え方」および「学校法人の格付けの視点」である。これらの格付方法は、格付けを行うにあたり考慮したその他の格付方法とともに下記のウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行者：追手門学院

名称	格付け	格付けの方向性
発行体格付け	A (維持)	安定的

☆発行体格付けは、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付けは、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。